

盛り上がった土

白井 董

セミが鳴き始めたある暑い日、Aさんは友人のBさんと一緒に校庭の花壇に百日草の苗を植えていました。穴を掘っていると、もこつと土が盛り上がってきました。不思議に思つてそこをさらに掘ってみると、

「ワッ」

そのとたん顔にバシャーんと水がかかってきました。ビックリしてAさんは思わず尻餅をついてしまいました。さらにどんどん水が噴き出てきます。

「怖いよ、先生に言いに行こう。」

とBさんが泣きそうな顔で言いました。走つて教室へ向かったAさんとBさんは、

「たくさん水が出てきたっ！」
と慌てて先生に伝えました。

先生は、急いで花壇のある場所まで行こうとしましたが、水はピロティーのところまで来ていました。

「こ、これはまずいっ！」

真つ青な顔で先生は校長室へかけていきました。先生の焦つている姿を見て誰かの「にげろ！」と叫ぶ声が響きました。みるみるうちに水がひざ下まで上がってきていました。驚いたAさんとBさんは、水をかき分

けて教室から階段まで逃げようとなりましたが水の流れはどんどん強くなり、ついにはAさんの顔にまで水が上がってきてしまいました。

(もうだめだ)

と思つたその時・・・

「ギーコーンカーコーン」

とチャイムの音が聞こえてきました。するとAさんは、保健室のベッドの上で寝ていました。先生から事情を聞くと、Aさんは穴を掘っている最中、熱中症になつて倒れたところをBさんが見つけて保健室まで届けてくれたらしいのです。

Aさんは、夢の中で穴を掘っていたら水が噴き出してきた事を先生に話すと、

「昔、大塩平八郎の乱の後、豊臣秀吉が荒れ果てた町の復興と焼け出された人々を助ける為に大川から堀川の流路を掘らせたという歴史があったんだよ。それがちようどこの小学校の下辺りがルートだったのかも知れないね。」

Aさんは、その話を聞いて自分の小学校の歴史に興味を持ちました。

もしかしたらあなたの小学校にも不思議な歴史があるかもしれないね。